

小児薬物療法の新たな展開をもとめて

プログラム

10：00－10：20

開会挨拶 衛藤義勝（日本小児科学会会長・慈恵会医科大学小児科教授）

挨拶 川原章（厚生労働省医薬食品局審査管理課 課長）

10：20－12：00

I 小児薬物療法の充実に向け関係者の密接な連携を目指して

座長

日本小児科学会薬事担当理事

大阪府立母子保健総合医療センター院長 藤村

正哲

日本小児科学会薬事委員会委員長

香川大学医学部小児科教授 伊藤 進

1. 小児薬物療法の今後の展望—適応外使用医薬品と未承認薬の問題

厚生労働省医薬食品局審査管理課

下荒磯 誠

2. 日本小児科学会・薬事委員会としての取り組みと問題点

小児科学会薬事委員会委員長 香川大学医学部小児科教授

伊藤 進

3. 小児薬物療法改善に向けての具体的な方向性と活動方針

小児科学会薬事委員会委員

国立成育医療センター治験管理室長

中村 秀文

4. 製薬企業の立場からみた適応外使用医薬品・未承認薬の問題解決への提案

日本製薬工業協会医薬品評価委員会臨床評価部会

岩崎 利信

5. 小児薬価基準の問題点

日本小児科学会薬事担当理事

大阪府立母子保健総合医療センター院長

藤村 正哲

12：00－13：00

———昼食———

13：00－14：30

II 医師主導治験への取り組み、これまでの進展と企業側の対応

座長

小児科学会薬事委員会委員

東邦大学小児科教授

佐地 勉

国立成育医療センター総合診療部

土田 尚

1. 日本医師会治験促進センターとしての取り組み

日本医師会治験促進センター

小林 史明

2. 医師主導型治験の進捗状況と、取り組みを通して得られたノウハウ・問題点

1. イリノテカン：特に臨床試験体制整備の観点から

国立がんセンター中央病院小児科医長

牧本 敦

2. フェノバルビタール：治験準備における調整業務について

香川大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部

河田 興

3. クエン酸フェンタニル：治験開始後の状況と問題点

国立成育医療センター病院治験管理室長

中村 秀文

4. アルギニン（ミトコンドリア脳筋症）

久留米大学医学部小児科教授

古賀 靖敏

14：30－14：50 —————休憩—————

14：50－15：10

Ⅲ 未承認薬問題への取り組みの実態と経過報告

座長

日本小児科学会 薬事担当理事

九州大学医学部小児科教授

原 寿郎

小児科学会薬事委員

東京女子医科大学小児科教授

大澤真木子

15：10－16：30

Ⅳ 日本小児科学会 各分科会における活動報告 薬事担当者

座長

小児科学会薬事委員会委員

横浜市立医科大学小児科 教授 横田 俊平
小児科学会 薬事委員会委員
滋賀医科大学小児科 講師 中川 雅生

未熟児新生児学会

大久保賢介 (香川大学医学部小児科学・助手)

小児循環器学会

中川雅生 (滋賀医科大学治験管理センター／小児科・講師)

先天代謝異常学会

大浦敏博 (東北大学小児病態学・助教授)

遠藤文夫 (熊本大学小児科・教授)

小児神経学会

大澤真木子 (東京女子医科大学小児科・教授) 伊藤正利
(滋賀県立小児保健医療センター・所長)

小児精神神経学会・心身症学会

宮島 祐 (東京医科大学小児科・講師)

石崎優子 (関西医科大学小児科・非常勤講師)

深井善光 (都立清瀬小児病院)

小児リウマチ学会

横田俊平 (横浜市立大学医学部小児科・教授)

森 雅亮 (横浜市立大学医学部小児科・準教授)

小児腎臓病学会

本田雅敬 (都立八王子小児病院副病院・副院長)

16 : 30

閉会挨拶

北海道医療大学 松田一郎

実績報告書

北海道医療大学 学長 松田一郎

「小児医薬品エビデンス評価セミナー」〔財団法人日本公定書協会普及啓発事業 医薬品・医療機器レギュラトリーサイエンス総合研究事業(H16-医薬-一般-001)〕は虎ノ門パストラルに於いて、平成18年11月3日(金)に88名の参加の出席のもとに開催された。

セミナーは最初、厚生労働省の医薬食品管理審管理課 河野典厚課長補佐による日本における小児薬物療法の改善策と今後の方向性についての解説がなされ、公知の取り扱い、未承認薬使用問題検討会議、小児薬物療法検討会議などについて、要点を抑えた説明が行なわれ、厚生労働省の目指す方向性が明快に示された。

次いで、東京大学 津谷喜一郎客員教授及び、津谷教室に所属する大学院博士課程学生によるコクランレビュー、DRUGDEX システムなど医薬品に関する文献検索法についての詳細な説明があり、聴衆に多大な感銘を与えた。出席した研究班員の中から今後の報告書作成に大きく貢献することになるとの発言があった。

その後、滋賀医科大学 中川雅生助教授から Pub Med を利用した医薬品に関する文献検索の手法が詳細に説明された。この説明も理解しやすく、実用的な解説であった。

引き続き、国立成育センター治験管理室 中村秀文室長、国立がんセンター中央病院小児科 牧本敦医長により具体例を中心とした用量、用法、安全性の総合評価について報告を兼ねた説明がなされた。

最後に、日本小児循環器学会からは中川雅生助教授が塩酸フェニカイドについて、日本小児精神神経学会からは宮島祐助教授がメチルフェニデートについて、日本外来小児科学会からは関口進一郎医師からアセトアミノフェンについて、日本未熟児新生児学会から伊藤進教授がアシクロビルについて、日本小児リウマチ学会からは森雅亮助教授からメトトレキサートについて、小児薬物療法検討会議報告書の作成過程が披露された。

それぞれの演者には持ち時間をフルに使い、要点を押さえた、理解しやすい内容の講演・報告を行っていただき、そのことに深く感謝している。今回の企画は今後の医薬品の文献検索、調査研究に大いに役立つものと確信する。

小児医薬品エビデンス評価セミナー

日時：平成 18 年 11 月 3 日（金）13:00～16:30
場所：虎ノ門パストラル 本館 8 階「しらかば」

開会の挨拶 分担研究者（大阪府立母子保健総合医療センター 総長） 藤村正哲

13:00－13:30（30 分）

1. 本邦における小児薬物療法の改善策の方向性と現状

厚生労働省医薬食品局審査管理課 課長補佐 河野典厚

13:30－14:20（50 分）

2. エビデンスのグレードとコクランレビュー

東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学講座 客員教授 津谷喜一郎

14:20－14:50（30 分）

3. エビデンス収集のための文献検索法と評価法

滋賀医科大学医学部附属病院治験管理センター 助教授 中川雅生

14:50－15:05 休憩（15 分）

15:05－15:35（30 分）

4. 具体例を中心とした用法、用量、有効性、安全性の総合評価

国立成育医療センター 治験管理室 室長 中村秀文

国立がんセンター中央病院 小児科医長 牧本 敦

15:35－16:25（各 10 分×5）

5. 小児薬物療法検討会議報告書作成に参加して

塩酸フレカイニド

日本小児循環器学会 中川雅生

メチルフェニデート

日本小児精神神経学会 宮島 祐

アセトアミノフェン

日本外来小児科学会 関口進一郎

アシクロビル

日本未熟児新生児学会 伊藤 進

メトトレキサート

日本小児リウマチ学会 森 雅亮

閉会の挨拶

主任研究者（北海道医療大学 学長） 松田一郎

平成16年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
月本一郎	急性骨髄性白血病(AML)	大野竜三編	白血病・悪性リンパ腫治療プロトコール集、改訂版	医薬ジャーナル社	大阪	78-90	2003
佐地勉	肺高血圧の治療, 現況と展望 - sildenafil (PDR5 阻害薬) と ET-1 阻害薬による ED (endothelial dysfunction) への治療効果 -		Annual Review 循環器 2004	中外医学社	東京	216-221	2004
月本一郎	小児白血病について	国際診断病理センター編	血液のがん - どこまで治るか	医療タイムス社	東京	21-45	2004
月本一郎	小児白血病の疫学	大野竜三、宮脇修一編	白血病の基礎と臨床	医薬ジャーナル社	大阪	70-75	2004
本田雅敬	小児患者に対する透析	透析療法合同専門委員会編	「血液浄化療法ハンドブック改訂第3版」	協同医書出版	東京	336-345	2004
Nakanishi K, Honda M, Yoshikawa Y	Pediatric nephrology around the world	Avner ED, Harmon W, Niaudet Ped.	Japan Pediatric Nephrology 5 th Ed.	Lippincott Williams and Wilkins	Philadelphia	1499-1506	2004

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
麦島一郎、月本一郎、他	Diamond-Blackfan 貧血の全国調査 - その疫学と治療反応性について -	日小血会誌	17	544-553	2003
和泉徹、磯部光章、河合祥雄、川名正敏、北浦泰、木村一雄、許俊鋭、佐地勉 他	急性および慢性心筋炎の診断・治療に関するガイドライン	Circulation Journal	68	1231-1263	2004

佐地勉	循環器疾患 原発性肺高血圧	小児科診療 Q&A	38	106-109	2004
佐地勉、鈴木えり子	高度先進医療における「小児のくすり」	小児内科	36	721-724	2004
佐地勉、小川潔、中川雅生、渡部誠一、西川敏郎、安河内聰、長谷川慶、松裏裕行	新生児・小児心筋炎を識る	Heart View	11	1108-1115	2004
佐地勉、中澤誠、原田研介	Prostaglandin E1-CD (PGE1-CD) の動脈管依存性先天性心疾患への承認	日本小児循環器学会雑誌	20	663-667	2004
佐地勉	クエン酸シルデナフィルの術後肺高血圧への有用性—梅原論文に対する Editorial Comment	心臓	37	42-43	2004
中澤誠、佐地勉、市田藤子、小山耕太郎、楠田聡、原田研介	先天性心疾患児におけるパリビズマブの使用に関するガイドライン	日本小児科学会雑誌	108	1548-1551	2004
中山智孝、嶋田博光、高月晋一、星田宏、松裏裕行、佐地勉	在宅における中心静脈カテーテル管理—小児原発性肺高血圧症 (PPH) 患者さんの事例を中心に—	難病と在宅ケア	10	55-59	2004
佐地勉、中澤誠、原田研介	抗RS ウイルスモノクローナル抗体 palivizumab の先天性心疾患児に対する効果と安全性の調査報告	日本小児循環器学会雑誌	20	45-49	2004
林 北見、大澤真木子	ミダゾラム、リドカインの臨床試験	小児外科	36(7)	917-922	2004
多和昭雄、月本一郎	急性骨髄性白血病のリスク分類に基づいた層別化治療	日小血会誌	18	200-209	2004
月本一郎、徳山美香	小児における ondansetron, granisetron の臨床試験	小児外科	36	929-933	2004
本田雅敬	小児末期腎不全の管理	日本小児科学会雑誌	108	3-11	2004
本田雅敬	小児慢性腎不全患者の総合的治療システムの構築に関する研究	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業 (小児難治性腎尿路疾患の早期発見、管理・治療に関する研究) 平成 15 年度総括研究報告書		11-22	2004

本田雅敬	日本小児腎臓病学会 小児腎臓病専門医の適応外使用医薬品の検討	厚生労働科学研究費補助金 医薬品等医療技術リスク評価研究事業 (小児等の特殊患者群に対する医薬品の用法及び用量の確立に関する研究) 平成15年度研究報告書		293-296	2004
小林靖明、長谷川理、本田雅敬	小児 MPGNtype I における terminal complement complex の臨床的意義	日腎誌	46	19-25	2004
森一越、本田雅敬、石倉健司、幡谷浩史、池田昌弘	心筋症を合併した血管型 HUS の一例	第4回透析循環器病研究会抄録集			2004
幡谷浩史、本田雅敬、池田昌弘、石倉健司、若木均、中島泰志、西尾利之、大迫豊	アンギオテンシン変換酵素阻害薬 (ACEI)・アンギオテンシンII受容体拮抗剤 (ARB) の母胎投与における胎児への合併症について	日本小児腎不全学会雑誌	24	39-41	2004
矢田菜穂子、中西浩一、佐古まゆみ、尾鼻美奈、吉川徳茂、池田昌弘、石倉健司、幡谷浩史、本田雅敬	LDL 吸着療法を施行したステロイド抵抗性ネフローゼ症候群4歳症例	日本小児腎不全学会雑誌	24	111-113	2004
池田昌弘、幡谷浩史、石倉健司、若木均、中島泰志、西村玄、本田雅敬	尿毒症性獅子面症 (uremic leontiasis ossea) の2症例 - 腎性骨異常栄養症における顔面・頭蓋骨病変 -	日本小児腎不全学会雑誌	24	158-160	2004
槇野博史、重松秀一、城謙輔、田口尚、斉藤喬雄、西慎一、横山仁、服部元史、本田雅敬	腎生検組織標本取り扱い指針案	日腎会誌	46	747-780	2004
日本小児科学会薬事委員会	タミフルドライシロップ 3% の乳児への投与の安全性に関する検討 (中間報告)	日本小児科学会雑誌	108	1438	2004
友政剛、小林昭夫、牛島高介 他	小児潰瘍性大腸炎治療指針案	日小児学会誌	108(4)	611-614	2004
西川俊郎、佐地勉、越後茂之、中澤誠、原田研介、馬場清、安井久喬、松田暉、	小児期心筋症の全国調査 - 追跡調査結果 -	日本小児循環器学会雑誌	21	55-58	2005

小野安生、小林俊樹、 中西敏雄、福嶋教偉、 松下亨、森田茂樹					
向山徳子、有田昌彦、 伊藤節子、宇理須厚 雄、海老澤元宏、小 倉英郎、河野陽一、 近藤直実、柴田瑠美 子、古庄巻史、眞弓 光文	食物に起因するアナフィラキ シー症状既往患児の保護者に 対するアンケート調査	日本小児アレル ギー学会誌	19(1)	96-109	2005
林 北見、大澤真木 子	ミタゾラムの効果と問題点	先端医療シリー ズ 34 小児科の 新しい流れ			2005
Imashuku S, Tsukimoto I, et al	Detection of melodysplastic syndorome/acute myeloid leukemia evolving from aplastic anemia in children, treated with recombinant human G-CSF	Haematologica	88(11)	ECR31	2003
Ohga S, Tsukimoto I, et al	Diamond-Blackfan anemia in Japan: Clinical outcome of prednisolone therapy and hematopoietic stem cell transplantation	Int J Hematol	79	22-30	2004
Onouchi Y, Onoue S, Tamari M, et al (19 th place)	CD40 ligand gene and Kawasaki disease	European Journal of Human Genetics	12	1062-1068	2004
Ishihara N, Yamada K, Yamada Y, et al (26 th place)	Clinical and molecular analysis of Mowart-Wilson syndrome associate with ZFHX1B mutations and deletions at 2q22-q24.1	Journal of Med. Gen	41, 5	387-393	
Ikeda M, Ito S, Honda M	Hemolytic uremic syndrome induced by lipopolysaccharide and shiga-like toxin.	Pediatr Nephrol	19(5)	485-489	2004
TanakaY, Matsuyama T, Ishikura K, Hataya H, Ikeda M, Honda M	Cholesterol ester transfer protein in children on peritoneal dialysis.	Peri Dial Int	24	288-286	2004
Yata N, Ikeda M, Ishikura K, Hataya H, Matuyama T, Banba M, Hasegawa O, Honda M	Typical MPGN with few urinary abnormalities.	Am J Kidney Dis	43	918-922	2004
Yata N, Nakanishi K, Uemura S,	Evaluation of the inferior vena cava in potential	Pediatr Nephrol	19	1062-1064	2004

Ishikura K, Hataya H, Ikeda M, Honda M, Yoshikawa N	pediatric renal transplant recipients				
Yoshino A, Honda M, Ikeda M, Tsuchida S, Hataya H, Sakazume S, Tanaka Y, Shishido S, Nakai H.	Merit of the cuff-shaving procedure in children with tunnel infection.	Pediatr Nephrol	19	1267-1272	2004
Mori K, Honda M, Ikeda M.	Efficacy of methylprednisolone pulse therapy in steroid-resistant nephrotic syndrome	Pediatr Nephrol	19(11)	1232-6	2004

平成 17 年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
平林 円 (訳)、 藤村正哲 (監訳)	母乳育児のすべて—お母さんになるあなたへ—	平林 円	母乳育児のすべて—お母さんになるあなたへ—	メディカ出版	大阪	2005	
伊藤 進	薬物治療	渡辺 博	小児の治療指針	診断と治療者	東京	2006	19-22
佐地 勉	小児心臓病学の新しい流れ 1. 肺高血圧症の治療	柳澤正義 衛藤義勝 五十嵐隆	最先端シリーズ 34 小児科の新しい流れ.	先端医療技術研究所	東京	2005	233-236
Okamoto N, Nakagawa M, Fujino H, Nishijima S, Hanato T, Narita T, Yoshida-Imanaka K	Teratogenic effects of bis-diamine on the developing myocardium.	Artman M, Benson DW, Srivastava D, Nakazawa M	Cardiovascular Development and Congenital Malformations. Molecular and genetic mechanisms	Blackwell, Futura	New York	2005	44-46
大嶋政明、月本一郎	抗腫瘍薬	師研也監修	小児用医薬品集 第2版	薬事日報社	東京	2005	224-265
月本一郎、徳山美香、安本由紀子	小児白血病		血液疾患ハンドブック—日常診療の手引きと臨床データ集—(上巻)	医薬ジャーナル社	吉田彌太郎編	2005	195-223
本田雅敬	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群治療研究	厚生労働科学研究費補助金：小児臨床研究事業	小児難治性腎疾患に対する薬物療法のガイドライン作成のための多施設共同研究と臨床試験体制整備 平成16年度研究報告書			2005	89-203
永井敏郎、緒方勤	XX 男性		内分泌症候群 II.	日本臨床社	東京	2006	519-521.
永井敏郎	Prader-Willi 症候群。		小児の治療指針 (増刊号)	診断と治療社	東京	2006	602-605

永井敏郎	プラダー・ウイリー症候群。	加藤忠明	小児慢性疾患診療マニュアル	東京医学社	東京	2006	315-317
宮島祐	31. 行動異常	別所文雄	これだけは知っておきたい小児医療の知識	新興医学出版社	東京	2006	393-396
宮島祐	33. チック	別所文雄	これだけは知っておきたい小児医療の知識	新興医学出版社	東京	2006	403-406
橋本令子	ジュニア期スポーツにおけるサプリメント摂取の現状とその影響—サプリメント, スポーツドリンクに関するアンケート調査—	日本スポーツ少年団医・科学シオステムワーキンググループ	ジュニアスポーツと安全	印刷中			

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
藤村正哲	子どもたちに使える薬を—日本小児科学会の取り組み—	月刊薬事	47	1163-1168	2005
藤村正哲	小児のくすり Update—冷遇され続ける小児のくすりをどうする—	小児内科	36	725-730	2004
藤村正哲、平野慎也、青谷裕文	小児科・小児外科領域における臨床試験—Neonatal Research Network.	小児外科	36	878-885	2004
伊藤 進	オフラベル	小児科臨床	58	1780-1784	2005
伊藤 進	小児医薬品のオフラベル問題	日本薬剤師学会雑誌	57	1695-1698	2005
伊藤 進	選択と観察のポイント NICU 頻用くすり 30 選 (企画)	Neonatal Care	19	9	2006

伊藤 進、河田 興、 大久保賢介	気管支喘息治療薬	薬局	57	268-271	2006
Tsutomu Saji, Makoto Nakazawa, Kensuke Harada	Safety and efficacy of palivizumab prophylaxis in children with congenital heart disease	Pediatrics International	47	393-403	2005
日本小児循環器学会 ガイドライン作成検 討委員会(中澤誠、佐 地勉、市田蒨子、他 3名)	先天性心疾患児におけ るパリビズマブの使用 に関するガイドライン	日本小児循環器 学会雑誌	21	60-62	2005
小児循環器学会臓器 移植委員会 同ワー キンググループ(西川 俊朗、佐地 勉、越 後茂之、他 11名)	小児期心筋症の全国調 査 追跡調査結果	日本小児循環器 学会雑誌	21	55-58	2005
内 昌之、佐地 勉、 原田 孝	原発性肺高血圧症に対 するプロスタサイクリ ン持続静注療法中の心 肺リハビリテーション の可能性	Journal of Cardiology	46	183-193	2005
小川 潔、中澤 誠、 佐地 勉、他 12名	動脈管依存性先天性心 疾患に対するプロスタ グランジン E1・ α -CD の有用性に関する調査	日本小児科学会 雑誌	109	990-998	2005
佐地 勉	肺高血圧	新目で見る循環 器病シリーズ 成人先天性心疾 患	14	72-75	2005
佐地 勉、中川雅生	クエン酸 sildenafil の 薬理学的特長と主要な エビデンス	日本小児循環器 学会雑誌	21	510-521	2005
佐地 勉	クエン酸シルデナフィ ルの術後肺高血圧への 有用性 梅原論文に対 す Editorial Comment	心臓	37	42-43	2005
佐地 勉	PDE5 阻害薬-クエン酸 シルデナフィルの肺動 脈性肺高血圧症治療へ の potential と concerns	日本小児循環器 学会雑誌	21	473	2005

佐地 勉、鈴木えり子	高度先進医療における「小児のくすり」-有用性と副作用の再認識-	小児内科	36	721-724	2005
佐地 勉	適応 動脈管依存性先天性心疾患 1) 静注用アルプロスタジルアルファデックス 2) プロスタグランジン E1 製剤 (静注用アルプロスタジル)	Neonatal Care	19	10-13	2005
佐地 勉、中川雅生	Carvedilol (アーチスト)の薬理学的特徴と主要なエビデンス	日本小児循環器学会雑誌	22	123-129	2006
中川雅生	審査報告書から読む小児への適応拡大の課題 -タクロリムス、モンテルカスト、パリビズマブ、テイコプラニンを例に-	月間薬事	47	61-66	2005
中川雅生	小児臨床試験デザインにおける留意点~承認された小児用医薬品から学ぶこと~	日本小児臨床薬理学会誌	18	170-173	2005
中川雅生、佐地 勉、中澤 誠、原田研介	小児循環器疾患用医薬品承認に向けての学会の取り組み	日本小児臨床薬理学会誌	18	108-111	2005
Kise K, Nakagawa M, Okamoto N, Hanato T, Watanabe N, Nishijima S, Fujino H, Takeuchi Y, Shiraishi I	Teratogenic effects of bis-diamine on the developing cardiac conduction system.	Birth Defects Research (Part A)	73	547-554	2005
Bessho F, Imashuku S, Hibi S, Tsuchida M, Nakahata T, Miyazaki S, Kojima S, Tsukimoto I, Hamajima N:	Serial morphologic observation of bone marrow in aplastic anemia in children.	Int J Hematol	81	400-405	2005
中尾眞二、浦部晶夫、別所正美、大屋敷一馬、大橋春彦、小島勢二、月本一郎、寺村正尚、小峰光博	再生不良性貧血診療の参照ガイド	臨床血液	47	27-47	2006
Kobayashi R, Tawa A, Hanada R, Horibe K, Tsuchida M,	Extramedullary infiltration at diagnosis and	Pediatr Blood Cancer	Mar 20; [Epub ahead		2006

Tsukimoto I:	prognosis in children with acute myelogenous leukemia.		of print]		
Shimada A, Kaki T, Tabuchi K, Tawa A, horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I and Hayashi Y:	KIT mutations, and no FLT3 internal tandem duplication, are strongly associated with a poor prognosis in pediatric acute myeloid leukemia with t(8;21): a study of the Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Blood	107	1806-1809	2006
日本小児アレルギー学会・薬務委員会	「小児に適応はあるが、乳幼児に対する使用、あるいは使用包囲制限のある医薬品」などの使用状況に関する報告	日本小児アレルギー学会誌	19	775-779	2005
矢田菜穂子、本田雅敬、大友義之、服部元史、飯島一誠、土屋正巳、伊藤拓	特発性小児ネフローゼ症候群に対するシクロフォスファミドとコハク酸メチルプレドニゾロンナトリウムの適応外使用実態調査	小児会誌	109	775-779	2005
吉川徳茂、本田雅敬、関根孝司、中西浩一、飯島一誠、大友義之、池田昌弘、和田尚弘、中村秀文、佐古まゆみ	小児特発性ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン 1.0 版 日本小児腎臓病学会学術委員会小委員会「小児ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン作成委員会」	小児会誌	109	1066-1075	2005
吉川徳茂、本田雅敬、関根孝司、中西浩一、飯島一誠、大友義之、池田昌弘、和田尚弘、中村秀文、佐古まゆみ	小児特発性ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン 1.0 版 日本小児腎臓病学会学術委員会小委員会「小児ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン作成委員会」	日腎会誌	47	790-803	2005
内木康博、伊藤美智子、吉村和子、佐藤真理、池間尚子、堀川玲子、田中敏章	思春期男子における蛋白同化ホルモンの成長促進作用	日本小児薬理学会雑誌	18	1443-146	2005

Nishimura N, Yoshikawa T, Ozaki T, Sun H, Goshima F, Nishiyama Y, <u>Asano Y</u> , Kurata T, Iwasaki T	In vitro and in vivo analysis of human herpesvirus-6 U90 protein expression.	J Med Virol	75	86-92,	2005
Enomoto Y, Yoshikawa T, Ihira M, Akimoto S, Miyake F, Usui C, Suga S, Suzuki K, Kawana T, Nishiyama N, <u>Asano Y</u>	Rapid diagnosis of herpes simplex virus infection by loop-mediated isothermal amplification method.	J Clin Microbiol	43(2)	951-955	2005
Sugiyama H, Yoshikawa T, Ihira M, Enomoto Y, Kawana T, <u>Asano Y</u>	Comparison of loop-mediated isothermal amplification, real-time PCR and virus isolation for detection of herpes simplex virus in genital lesions	J Med Virol	75(2)	583-587	2005
Ohashi M, Yoshikawa T, Akimoto S, Fujita A, Hayakawa S, Takahashi M, Arakawa Y, <u>Asano Y</u> .	Severe acute tonsillitis caused by <i>Rothia dentocariosa</i> in a healthy child.	Pediatr Infect Dis J	24(5)	466-467	2005
Kimura H, Ihira M, Enomoto Y, Kawada JI, Ito Y, Morishima T, Yoshikawa T, <u>Asano Y</u>	Rapid detection of herpes simplex virus DNA in cerebrospinal fluid: comparison between loop-mediated isothermal amplification and real-time PCR	Med Microbiol Immunol (Berl)	194(4)	181-185	2005
Yoshikawa T, Ihira M, Taguchi H, Yoshida S, <u>Asano Y</u>	Analysis of shedding of 3 beta-herpesviruses in saliva from patients with connective tissue diseases.	J Infect Dis	192	1530-1536	2005
Suzuki R, Yoshikawa T, Ihira M, Enomoto Y, Inagaki S, Matsumoto K, Kato K, Kudo K, Kojima S, <u>Asano Y</u>	Development of the loop-mediated isothermal amplification method for rapid detection of cytomegalovirus DNA.	J Virol Methods			2005

Mihara T, Mutoh T, Yoshikawa T, Yano S, Asano Y, Yamamoto H	Postinfectious myeloradiculoneuropathy with cranial nerve involvements associated with human herpesvirus 7 infection.	Arch Neurol	62(11)	1755-1757,	2005
今野武津子、小林昭夫、友政剛、金子浩章、豊田茂、中里豊、根津理一郎、米沢俊一、三木和典	小児クローン病治療指針	日本小児科学会誌	109(7)	815-20	2005
今野武津子、小林昭夫、友政剛、金子浩章、豊田茂、中里豊、根津理一郎、米沢俊一、三木和典	小児炎症性腸疾患の治療指針 クローン病治療指針	日本小児栄養消化器肝臓学会	19(1)	64-9	2005
Ishizaki Y, Kobayashi Y, Yamagata Z, Eto T, Hoshika A, Kano Y, Koeda T, Miike T, Oki J, Tanaka H, Watanabe H.	Research on Promotion of Management of Children with Psychosomatic and Psychosocial Disorders in Japan.	Pediatrics International	47	352-237	2005
Ishizaki Y, Ishizaki T, Ozawa K, Fukai Y, Hattori Y, Taniuchi S, Kobayashi Y.	Psychosocial problems among siblings of children with disabilities in Japan: psychosocial association between mothers and siblings.	Journal of Developmental and Physical Disabilities	17	119-132	2005
Goto M, Nishimura G, Nagai T, Yamazawa K, Ogata T.	Familial Klippel-Feil anomaly and t(5;8)(q35.1;p21.1) translocation.	Am J Med Genet	140A	1013-1015	2006
Murakani N, Tomita Y, Koga M, Takahashi E, Katada Y, Sakuta R, Nagai T	An adolescent with pharyngeal-cervical-brachial variant of Guillain-Barre syndrome and cytomegalovirus infection	Brain & Development	28	269-271	2006
Ozawa H, Osawa M, Nagai T, Sakura N.	Steroid sulfatase deficiency with bilateral periventricular nodular heterotopia.	Pediatr Neurol	34	239-241	2006

T. Tanaka, K Fujieda, S Yokoya, A Shimatsu, K Tachibana, H Tanaka, T Tanizawa, A Teramoto, T Nagai, Y Nishi, Y Hasegawa, K Hanew, K Fujita, R Horikawa, G Takada, m Miyashita, T Ohno, K Komatsu..	No improvement of adult height in non-growth hormone deficient short children with GH treatment.	Clin Pediatr Endochirinol	15	;15-21	2006
宮島祐, 中嶋光博, 星 加明徳.	小児の心身症:生物学的 背景と疾患概念の変化, 小児の徴候と小児科の 役割について.	小児科診療	57	235-242	2005
宮島祐, 星加明徳	チックの薬物療法	日本小児臨床薬 理学会誌	17(1)	70-73	2005
宮島祐	ADHDの病態仮説	臨床精神薬理	8	875-877	2005

平成 18 年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
伊藤 進	薬物治療	渡辺 博	小児の治療指針	診断と治療社	東京	2006	19-22
伊藤 進 河田 興 大久保賢介	離脱症候群	周産期医学編集委員会	周産期医学必修知識第6版	東京医学社	東京	2006	677-81
伊藤 進 河田 興	小児治験	高久史麿	臨床試験のABC	日本医師会発行 医学書院	東京	2007	87-92
伊藤 進	C. 母体に投与された薬物の胎児・新生児への影響	新生児医療連絡会	NICU マニュアル第4版	金原出版株式会社	東京	2007	638-44
白幡聡、佐地勉 他(日本川崎病研究会 免疫グロブリン療法に関する IC 用冊子政策委員会)	川崎病と免疫グロブリン療法について保護者さまならびに患者さまとの確かなインフォームドコンセントを求めて	日本川崎病研究会	川崎病と免疫グロブリン療法について保護者さまならびに患者さまとの確かなインフォームドコンセントを求めて	日本川崎病研究会	東京	2006	1-7
高橋幸利	てんかんの診断から治療の流れ	高橋幸利	小児てんかん診療マニュアル	診断と治療社	東京	2006	8-12
大谷英之 高橋幸利	West 症候群	高橋幸利	小児てんかん診療マニュアル	診断と治療社	東京	2006	170-177
牧本 敦	横紋筋肉腫	大関 武彦、他	今日の小児治療指針第14版	医学書院	東京	2006	432-433
牧本 敦、他	小児の白血病とリンパ腫	日本臨床腫瘍学会 編	新臨床腫瘍学	南江堂	東京	2006	584-593
牧本 敦、他	小児固形がん	日本臨床腫瘍学会 編	新臨床腫瘍学	南江堂	東京	2006	573-579

石崎優子	児童生徒の心の問題とその推進.	大関武彦、古川 漸、横田俊一郎	今日の小児治療指針第14版	医学書院	東京	2006	584-585
宮島 祐	30. 行動異常	別所文雄	これだけは知っておきたい小児医療の知識	新興医学出版社	東京	2006	393-396
宮島 祐	32. チック	別所文雄	これだけは知っておきたい小児医療の知識	新興医学出版社	東京	2006	403-406
宮島 祐	頭痛（器質性、非器質性）	大関武彦、古川漸、横田俊一郎	今日の小児治療指針第14版	医学書院	東京	2006	496-497
宮島 祐	II. AD/HD 2. 治療の基本的な考え方ー小児科・小児神経科の立場からー	加我牧子、稲垣眞澄	医師のための発達障害児・者診断治療ガイド	診断と治療社	東京	2006	110-114
宮島 祐	急性脳炎, 脳症, 脊髄炎		小児疾患の診断治療基準第3版	東京医学社	東京	2006	674-675
村田光範	第2章 医学的サポートについて	医・科学サポートシステムワーキンググループ	ジュニアスポーツのための医・科学ハンドブック	財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団	東京	2007	7-16
橋本令子	第7章 資料編 ジュニア期スポーツにおけるサプリメント摂取の現状とその影響	医・科学サポートシステムワーキンググループ	ジュニアスポーツのための医・科学ハンドブック	財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団	東京	2007	48-57

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
伊藤 進	小児の薬物療法と我が国問題点	小児科	47 (4月増刊号)	589-93	2006